

迎春



平成24年



子育てするなら北本市
と言われるまちを目指して
北本市議会議員 加藤 勝明



活気ある
まちづくりに向けて
北本市長 石津 賢治

市民の皆様におかれましては、輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年3月に発生した東日本大震災は、国民生活や国内経済に未だ影響を残し、また、海外経済の不安定化や急激な円高等により依然として景気の動向は不透明な状況にあります。さらに、震災復興における臨時増税をはじめ社会保障と税の一体改革による消費税の段階的な引き上げの議論などにより、国民の重税感が増しています。このような中、本市では市民の皆様元気になつてもらいたい

市民の皆様におかれましては、新春をお健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろより市政並びに議会運営に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在の日本社会は、少子高齢化の急速な進展、世界的な金融危機の影響による経済の低迷、さらには東日本大震災への復興等、大変厳しい状況にあります。こうした社会情勢の中ではございますが、本市にあっては、圏央道桶川北本インターチェンジの開通により首都圏からの交

いとの視点から、平成23年度個人市民税10%減税を実施いたしました。

また、市制施行40周年記念事業として本市で開催された「埼玉B級ご当地グルメ王決定戦」において北本市代表グルメ「真つ赤な誘惑北本トマトカレー」が見事優勝するなど明るい話題もございました。

今年、本市では引き続き減税政策として平成24年度から都市計画税の税率を0.05ポイント引き下げ0.2%にします。また、4月に稼働する関東グリコ株式会社北本ファクトリーは、平成24

通アクセスが向上し、さらには企業誘致も進められ、今後の北本市のさらなる発展が期待されております。

市議会では、昨年9月定例会で、市制施行40周年を契機として、子育てするなら北本市と目標に「めざせ日本一、子育て応援都市宣言」に関する決議を全会一致で可決したところでございます。今後、保育サービス充実するとともに子どもが安心安全に過ごすことのできる環境の整備等、総合的な子育て支援策を推進し、北本の未来を担

年度中に工場見学施設「グリコピア」を併設、水辺プラザ公園や駅西口駅前広場の完成とあわせて地域経済の活性化に大きく貢献するものと期待しております。まちの活性化には市民の皆様様の元気が欠かせません。今後

も観光振興や企業誘致など、市民の皆様が夢と希望を持ち、「ずっと暮らし続けたい」と思えるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして実りある一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

子どもたちの育成を支援してまいりたいと考えております。

これからは市の発展を図っていくためには、先人たちのまちづくりの思いを受け継ぎ、住んでよかったと実感のできる、さらには住んでみたいと思っていただけのまちづくりに努めていく必要があるものと存じます。

どうか本年も市民の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして、本年がより実りある飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

